

2020年4月13日

モスアイ型反射防止フィルム『モスマイト™』が“G-SHOCK”『GBD-H1000』に採用

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、当社が開発したモスアイ型反射防止フィルム『モスマイト™』（以下「モスマイト」）が、カシオ計算機株式会社が4月24日に発売する耐衝撃ウオッチ“G-SHOCK”『GBD-H1000』（写真①）に採用されたことを、お知らせいたします。太陽光発電素子及び液晶モジュールにモスマイトを貼合することで光の反射を抑制し、ディスプレイの高精細化・高コントラスト化を実現しています。

当社が開発したモスマイトは、蛾の眼（モスアイ）が持つ微細な突起構造を模倣した反射防止フィルムです。モスマイトの表面には高さ200ナノメートルの突起が100ナノメートルの間隔でフィルム上に並んでおり（写真②）、この突起の幅が可視光線の波長よりも狭いことで、光の屈折率の変化が緩やかになり、光の反射を抑制することができます。一般的なガラスやプラスチックの表面は光の反射率が通常4～5%程度ありますが、それらの表面にモスマイトを貼付すると反射率を0.1～0.3%にまで抑えることができます。その優れた光透過性から、これまでに車載ディスプレイや医療用モニター、サイネージ、額装等に幅広い分野に採用された実績があり、今後も用途が拡大することが見込まれています。

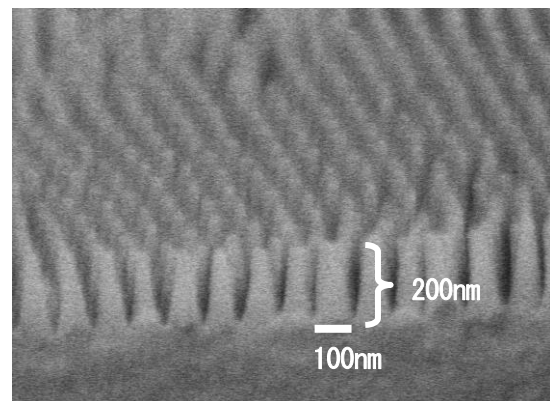
当社は、引き続きモスマイトの新たな用途開発・市場開拓に向けて、国内のみならず、グローバルに事業を展開させ、更なる拡販に努めてまいります。

以上



写真①：“G-SHOCK”『GBD-H1000』

（画像提供：カシオ計算機株式会社）



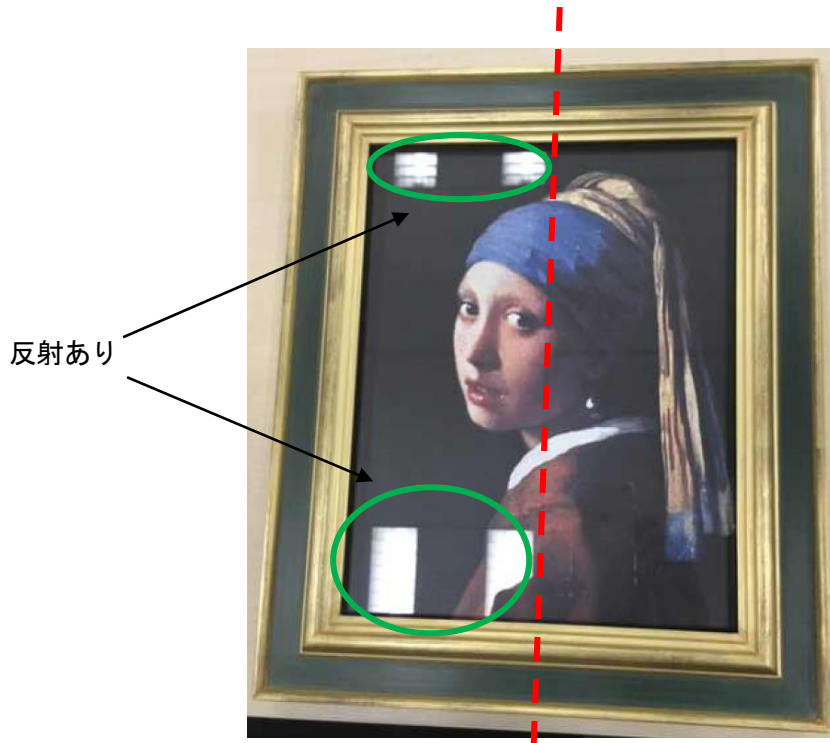
写真②：モスマイトの拡大写真

お問合せ先

株式会社三菱ケミカルホールディングス

広報・IR室 TEL 03-6748-7140

《ご参考：モスマイト有無による光の反射の比較》



左：モスマイトなし 右：モスマイトあり